



Q & A



町民の「声」を代表して 5人が質問



【問】 一般住民の意見はどういうふうに取り入れられる
【答】 法定の協議会であり、交通事情に精通している委員が好ましいという経緯から選定した。



【問】 地域公共交通会議委員の一般公募の必要性について問う。
【答】 必要なサービスが時間、場所を問わず受けられる環境が整うなど新しい動きが期待される。

【問】 無作為に抽出された1,800人からの66.3人の回収、回収率36.8%であり、移動困難者ト・デメリットを問う。

【答】 必要なサービスが時間、場所を問わず受けられる環境が整うなど新しい動きが期待される。

【問】 疑問に思う。バス路線がない地域の移動手段をもたない人の意見が反映されると認識を問う。

【答】 一般的なアンケート調査としては、非常に高い回収率と考える。

【問】 七つの基本プロジェクトを基軸とした、里山未来都市の実現に向けた取組みを問う。

【答】 暮らしに必要な資源を地域で自給し循環する、自律的なまちとを考える。

【問】 デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進することのメリットを問う。

【答】 必要なサービスが時間、場所を問わず受けられる環境が整うなど新しい動きが期待される。

【問】 町でのボランティアによる支援等も選択肢になるのではないか。しかし民衆への配慮は必要である。

【問】 定住者の増加に向けて水道加入金等が原因にあるのではないか。認識を問う。

【答】 雇用等の個々の問題があり、水道料金が原因と理解していない。新たな枠組が求められていると認識している。


岡本 ひとし

七つの基本プロジェクトを 基本とした町政運営の取組み

のか問う。

【問】 各種の交通事情について知見のある方に加わって頂き、アンケート調査の意見を掘り下げて議論いただく考え方である。

【答】 様々な交通事情について議員の考える手法があるのか問う。

【答】 岡本 代替え交通として運営されている公共交通空白地有償運送やNPO法人等の選択。太子

町でのボランティアによる支援等も選択肢になるのではないか。しかし民衆への配慮は必要である。

【答】 雇用等の個々の問題があり、水道料金が原因と理解していない。新たな枠組が求められていると認識している。

【反問】
〔町長〕

のせ町議会だより No.81 ⑥